

令和2年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修（NITS オンライン研修）実施要項

1 目 的

学校は、地域や学校の実態等に即し、学校の資源、特色を生かした適切な教育課程を編成し、実施する必要があります。

新学習指導要領においても、「カリキュラム・マネジメント」の重要性が特に示されています。

本研修では、新学習指導要領に基づいて、学校において、校長のリーダーシップの下、組織的、計画的に「カリキュラム・マネジメント」を展開するための手立て、カリキュラムの自己点検・評価に関する手法等を習得します。そして、1) 各学校における教育課程の編成・実施の改善に関する専門的な知見を活用して組織的な取組を推進する力、2) 学校や地域の教職員の「カリキュラム・マネジメント」に関する専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図ります。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間

受講者は、以下①～⑤の中から受講可能な期間を第2希望まで選択し、推薦者に報告する。

受 講 期 間（選択制）	推薦期限
① 11月10日（火）～11月12日（木）	10月12日（月）
② 11月17日（火）～11月19日（木）	
③ 12月 1日（火）～12月 3日（木）	
④ 12月 8日（火）～12月10日（木）	
⑤ 12月15日（火）～12月17日（木）	

※ 視聴可能期間については、受講期間の前後1週間程度を予定しており、システム上はこの期間内のいつでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

5 実施方法 インターネットでオンライン研修を視聴する。（同時双方向通信は行わない。）

6 配 信 元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター 〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 受 講 者

（1）受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ②幼稚園の園長、副園長、及び小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別

支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭、養護教諭等であって、各地域において本研修の内容を踏まえた研修の企画、運営または講師等としての活動を行う予定である者

③当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※ 「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を20%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

（参考：令和元年度…31.6%、平成30年度…31.0%）

（2）推薦手続

推薦期限は、令和2年10月12日(月)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

（3）受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。本研修はすべてオンラインで実施するため、定員に制限は設けないが、各受講期間における人数比の調整のため、第2希望で受講決定をする場合がある。

8 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

9 事前課題

（1）研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

（2）その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

10 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修

終了後1年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

11 その他

- (1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修は、非集合型のオンライン研修であり、学習管理システム「学びばこ」（（株）テクノカルチャー）を利用して研修を配信するものである。「学びばこ」はソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、スマートフォン等の端末からも視聴でき、システム上はどこからでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

令和2年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修(NITSオンライン研修) 日程表

	9:00						16:00	
(火)	開講にあたって	文部科学省講話 文部科学省 総合教育政策局 局長 浅田 和伸	(第1講) 講義・演習	リフレクション	昼 休 憩	(第2講) 講義・演習	リフレクション	
			「生きる力」の理念の具体化と カリキュラム・マネジメント —学習指導要領総則の規定を中心に— 文部科学省 学校教育官 石田有記			「カリキュラム・マネジメント」の新たな展開 千葉大学 特任教授 天笠茂		
(水)			(第3講) 講義・演習	リフレクション	昼 休 憩	(第4講) 講義・演習	リフレクション	
	学校における評価システムの確立によるカリキュラム改善 大阪教育大学 教授 田村知子		教育課程の編成・実施のための教職員の組織化 上越教育大学 教授 安藤知子					
(水)			(第5講) 講義・演習	リフレクション	昼 休 憩	(第6講) 講義・演習	閉講にあたって	
	カリキュラム・マネジメントと組織化 千葉大学 特任教授 天笠茂		研修成果の活用 教職員支援機構					

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人演習の時間です。

※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。